

## 第 26 期理事会議事録

日時:2014 年 10 月 4 日(土) 10:20~12:20

場所:産業医科大学 ラマツィーニホール 2F 会議室

出席者(五十音順):

宮本(会長)

荒武(幹事), 江口(会計), 河津(近畿), 後藤(総務), 坂本(関東), 西(東海), 樋上(研修・教育, 櫻風会), 深井(近畿), 堀野(全国大会, 九州), 大和(医学部同窓会)

### 1. 会長挨拶(宮本)

### 2. 予算決算報告(江口)

#### 1) 第 25 期決算

- ・助成金は、産業医学振興財団と産業医科大学医学部同窓会の減額により、計 30 万円減となった。
- ・メンバーシステムの委託費は、第 25・26 期の 2 期分計上している。

#### 2) 第 26 期予算

- ・約 30 万円の赤字を見込んでいる。
- ・全国大会が大学開催ではないため、助成金を従来の 90 万円に戻している。

→ 第 25 期決算および第 26 期予算は総会で承認された。

### 3. 部会報告

#### 1) 総務(後藤)

- ・2014 年 10 月の会員数は、正会員 573 名、準会員 14 名である。
- ・第 25 期の会員動態は、入会 30 名、退会 23 名(うち 3 期連続会費未納による 2014 年 9 月末の強制退会 22 名)であった。

#### ・会則等の改正

- 会則第 8 条(会員)を改正する。
  - 「準会員」を「特別会員」に名称変更する。
  - 「賛助会員」は団体のみとする。

→ 総会で承認された。

- 施行細則 7 を改正、内規 1 を改正、内規 10 を新設する。

→ 本理事会で承認された。

- ・現在のメンバーシステム運営会社との契約が 2016 年 9 月で終了するため、同年 10 月より新システムの運用ができるよう準備する。
- ・産業保健学部卒業生の入会勧誘のため、2014 年度末に櫻風会だより(12 期生以降)にパンフレットを同封予定である。

#### 4. 地方会報告

##### 1) 関東地方会(坂本)

- ・2013年10月19日に研究会を開催。参加者27名。
- ・2013年12月9日に研究会を開催。参加者17名。
- ・2014年6月21日に研究会を開催。参加者28名。
- ・2014年8月30日に研究会を開催。参加者30名。
- ・会員数が多い割に研究会参加者が少ない。会員の積極的な参加が望まれる。

##### 2) 東海地方会(西)

- ・2014年4月19日に研究会を開催。参加者28名。
- ・2014年9月6日に研究会を開催。参加者16名。
- ・会長が石川先生から西賢一郎先生(20回生)に交代した。

→地方会担当理事の交代は総会で承認された。

##### 3) 近畿地方会(河津, 深井)

- ・2013年11月30日に研究会を開催。参加者21名。
- ・2014年2月8日に研究会を開催。参加者15名。
- ・会長が河津先生から深井恭佑先生(26回生)に交代した。

→地方会担当理事の交代は総会で承認された。

##### 4) 九州地方会(堀野)

- ・2013年10月26日に研究会を開催。参加者125名(産推研会員35名)。
- ・2014年2月22日に研究会を開催。参加者23名(産推研会員14名)。

#### 5. 第26回全国大会(堀野)

- ・第32回産業医科大学学会との共催。

#### 6. 同窓会からの報告

##### 1) 医学部同窓会(大和)

- ・今年度で会長の任期が終了する。来年度より土肥誠太郎先生(1回生)が就任する。
- ・困窮者への学費支援制度を検討している。
- ・今回の全国大会の懇親会に10万円を助成した。

##### 2) 櫻風会(樋上)

- ・2014年8月23日、産業医科大学において第26回総会・懇親会を開催。参加者は約50名。

## 7. その他

### 1) 全国大会のローテーション(宮本)

- ・従来のローテーションに戻す。
- ・全国大会主催は、2014年度より九州，関東，近畿，九州，関東，東海の順で反復する

→ 内規 4 を改正する。

### 2) 全国大会実行委員長の選定方法(坂本)

- ・各地方会でルールを作る
  - 第 27 回全国大会は、関東地方会の 14 回生が担当する予定である。
- ・懇親会をメインとする等、参加者を増やすことを考慮する。

### 3) 理事について(荒武)

- ・若い世代をメンバーに入れて、「産推研のあり方検討会」を開催する。
  - 同窓会的な役割から、日本の産業保健をリードする専門職集団へと方向転換してもよいのではないか。
- ・来年の理事選挙に向けて、適任者を探す。
- ・全国大会を含め、可能な部分は外部委託し、理事の負担を減らす。
- ・理事の定数について、擲風会枠を 2 枠に増やし、うち 1 枠を広報担当とする。

注：一般公開版のため、本来の議事録を一部改編しています。